

10 課題解決への参画

取組事例

44

三重ジュニアドクター育成塾

～ アントレプレナーシップセミナー 三重の林業・製材業と地域の活性化 ～

三重大学 小学5年生から中学2年生



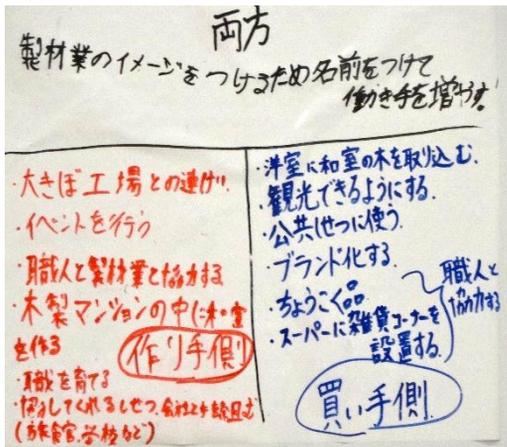
セーザイゲームで原木の競りをしている様子

実施時期	令和6年9月
実施場所	三重県林業研究所 みえ森林・林業アカデミー棟
時間	3時間
対象・人数	小学5年生から中学3年生 36人
講師	(株)nojimoku 野地伸卓氏、杉浦直人氏、その他三重大学関係者
備考	三重大学独自事業

めざす姿	10 課題解決への参画（01遊び・楽しむ、02親しむ、03興味・関心を持つ、04違いに気づく、06知識・技能を身に付ける、08地域の課題に目を向ける、09地球の課題に目を向ける）
ねらい	三重県の林業・木材業を活性化するための新たなアイデアを發明する
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・製材材のお仕事と、木製品の活用の変化について知る ・製材品の付加価値を高める意義と、原木の等級と林業活動との関連・課題について学ぶ ・セーザイゲームを通して、原木を競り落とし、製材し、販売する木材流通の仕組みを模擬体験する ・三重県林業・木材産業を活性化するための新たなアイデアを考える
学習指導要領との関連	<p>探究的な学習（総合的な学習の時間）</p> <p>森林資源と木材生産・国際社会の中の日本・森林資源と環境（中学校社会科）、共通点と相違点（中学校理科）、持続可能な社会の構築・加工技術（中学校技術・家庭）、職場体験（中学校総合的な学習の時間）、職業観（中学校特別活動）、持続可能な社会の実現（高校社会科）</p>



セーザイゲームの木取りの様子



参加者が考えた三重県の林業・木材業を活性化するためのアイデア



子どもの反応	<ul style="list-style-type: none"> ・林業の話は聞いたことがあったが、製材という点から考えたのは初めてだった。 ・普段目にするきれいな木の加工物には林業で木を育てる長い年月と苦労が詰まっていることを知りました。 ・今まで製材業のことを知らなかったけど、大切で必要な仕事だったんだと思いました。森を大切にしたり、木を使用したものをたくさん使っていきたいです。
主催者のコメント	<ul style="list-style-type: none"> ・普段は各自の自由研究に取り組むとともに科学技術に関する様々な講座を受けている三重ジュニアドクター育成塾の受講生たちですが、この日は三重県の地域課題にビジネスの視点をもって取り組んでみるという経験をしました。本講座で経験したことが、受講生たちのアントレプレナーシップ—新しいものを生み出す精神—に繋がり、今後の研究やその取り組み方に大いに役立つことを期待しています。